

## 蕎麦づくり入門の集大成 蕎麦打ち体験

秋畑那須地区のちいじがき蕎麦の里「蕎麦づくり入門」の締めくくりとなる蕎麦打ち体験が12月9日・10日、那須庵で行われました。

約100人の蕎麦オーナーが、種から育てた粉を使い名人の指導を受けながら蕎麦打ちに挑戦しました。こねたり麺棒で押し広げたりするのに悪戦苦闘する人や、手慣れた様子でリズムカルに切る人の姿もありました。



そのおいしさに思わず笑みがこぼれます



蕎麦粉と小麦粉を水でよく混ぜます

参加者は自分で打った蕎麦を食べ、打ちたて、ゆでたてならではの香りや喉越しを楽しみました。

令和5年度の「蕎麦づくり入門」も蕎麦打ち体験をもって終了となります。種まきから蕎麦打ちまで全ての工程に参加したオーナーにはこの日、名人認定書が贈られました。

## ベトナムの首相が柴田合成を訪問

ベトナムのファム・ミン・チン首相が12月15日、多くのベトナム人を雇用している株式会社柴田合成(齋藤篤社長・天引)を訪問されました。

柴田洋会長から会社の概要、ベトナム人社員から業務内容の説明をそれぞれ受けたチン首相は「ベトナム人が技術を自分のものにし幸せそうに働く姿を見て、多くのベトナム人を受け入れてくれていることに感謝している」と話されました。視察後には、ベトナム人社員一人一人に声を掛けるなど異国の地で働く若者たちを激励しました。

柴田会長は「文化の違いを尊重し合いながら、共に力を合わせ成長していきたい」と話しました。



和やかな雰囲気の中で記念の1枚

# 遠田さんの100歳を慶祝

遠田志づ江さん(大正12年11月21日生まれ・国峰)が100歳の誕生日を迎えられ、11月21日に茂原町長が自宅を訪問し慶祝状と祝金を手渡しました。

遠田さんは金井の生まれで国峰に嫁ぎ、夫婦で農業と養蚕業を営んでこられ、3人のお子さんと孫、ひ孫にも恵まれました。

数年前まで「一行日記」を50年以上書き続けてこられたそうです。現在も自宅で生活し、好き嫌いもなく穏やかに過ごしています。

たくさんの孫やひ孫が遠田さんの元を頻りに訪れており「一緒に会話を楽しむことが認知症予防になっている」とにこやかに話されました。



# 犯罪や非行からの立ち直り支援に尽力

第68回群馬県更生保護大会が11月17日、安中市文化センターで開かれ、犯罪や非行をした人の社会復帰を支援し、安全安心な社会づくりに功労のあった皆さんが表彰されました。

(●保護司 ◆更生保護女性会)

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| ●群馬県知事感謝状         | 横尾淳一さん(金井)  |
| ●関東地方保護司連盟会長表彰    | 白石豊樹さん(善慶寺) |
| ●群馬県保護司会連合会長表彰    | 小安和順さん(白倉)  |
| ◆日本更生保護女性連盟理事長表彰  | 中野恵理子さん(国峰) |
| ◆関東地方更生保護女性連盟会長表彰 | 黛 智恵子さん(白倉) |
| ◆前橋保護観察所長感謝状      | 相川登志子さん(福島) |
| ◆群馬県更生保護女性連盟会長表彰  | 鈴木厚子さん(庭谷)  |
| ◆                 | //          |
| ◆                 | //          |
|                   | 細谷京子さん(小幡)  |
|                   | 丸山由紀江さん(小川) |



保護司、更生保護女性会の皆さん

# 健康増進に貢献 松嶋さん

令和5年度保健事業等功労者知事表彰式が11月24日、県庁昭和庁舎正庁の間で開かれ、町食生活改善推進員の松嶋まき子さん(上野)が表彰されました。

昭和60年から現在に至るまで同会会員として活動し、料理教室をはじめとした町の行事を通じ料理の楽しさや食べることの大切さなどを伝え、地域の健康づくりに大きく貢献されました。

松嶋さんは「入会当初は初代会長の新井梅子さんや田村トモエさんとご一緒させていただきました。そして今も多くの会員の皆さんと食の大切さを学び楽しみながら活動できており、大変ありがたく感謝しています」と話されました。





# 人権ポスターコンテストで入賞

人権について理解を深めるための第20回記念人権ポスターコンテスト(富岡人権擁護委員協議会・前橋地方法務局富岡支局主催)が開かれ、甘楽郡・富岡市・上野村の小学5年生を対象に404点の応募がありました。

12月9日に富岡市生涯学習センターで入賞者の表彰式が行われ、作品も展示されました。町内の小学生の作品は、1月24日から2月4日まで町文化会館で展示されますので、ぜひご覧ください。町の入賞者は次のとおりです。



林さん(右)と渡邊さん



◇甘楽町教育長賞  
渡邊結莉さん(新屋小)



◇甘楽町長賞  
林 愛莉さん(新屋小)

# 県木エコンクールで入賞

第48回群馬県児童生徒木工工作コンクールにおいて、高橋美来乃さん(福島小・6年)が県木材組合連合会会長賞、相川聖奈さん(福島小・4年)が読売新聞社賞をそれぞれ受賞しました。

高橋さんは「木を同じ長さに切ったりくぎを打つのが難しかったけれど、受賞できてうれしいです」と喜びを口に、相川さんは「わらを屋根に付けるところを工夫しました。来年も頑張ります」とさらなる意欲を話してくれました。



◀高橋さん「賽銭箱」



◀相川さん「安中藩 武家長屋」

# 森に癒される

人々を癒やし健康に導くことが科学的に立証されている「森林セラピー」が11月26日、水源の森(秋畑)で開催されました。

参加者は森林セラピストの案内でウォーキングやヨガを体験しました。セラピーの前には血圧や脈拍、ストレスを受けると上昇する血中アミラーゼのチェックを行い、そのリラックス効果を実感しました。

最後には地元食材を使用したセラピー弁当に舌鼓を打ち、自然の澄んだ空気の下癒やしのひとときを堪能しました。



～春の空気を全身で感じてみませんか～  
次回は3月24日(日)に八幡山(小幡)で開催予定  
詳しくは産業課農林係(☎64-8319)まで

## プログラミングを楽しく学ぶ 新屋小

トヨタ未来スクール「モビリティプログラミング教室」が11月21日、新屋小学校体育館で5年生を対象に実施されました。

児童たちは、地球温暖化や渋滞・事故などの社会課題と、その解決方法の1つである「モビリティ(人の移動や物の輸送手段)」について学び、カーボンニュートラル、運転サポート技術、自動運転モビリティなどの取り組みについて知る機会となりました。



命令カードを組み合わせ、車を走らせる児童



後半は、車の形をしたロボットのおもちゃにカードを使い「前進」や「曲がる」などの命令を記憶させ、決められたコース上を車が動くことを体験し、プログラミングの基本を学びました。

荒木和真さんは「企業と社会との関わりを知ることができました。プログラミングは楽しかったので、もっと学んでみたいと思いました」と授業の感想を話しました。

## 茶道を通じマナーを習得 福島小

「茶道教室」が11月27日に福島小学校図書室で行われ6年生が参加しました。茶道裏千家篠原社中の皆さんが講師を務めた教室は、茶道を通じて日本文化に触れ礼儀作法などを身に付けることを目的としており30年以上前から同校で実施されています。

抹茶の香りが漂う中、茶道の歴史や茶を飲む際の所作を教えてもらいながらお菓子とお茶を楽しみ、その後自分たちでもお茶を点てることに挑戦しました。

児童たちからは「お辞儀などのマナーを学ぶことができた」「抹茶がおいしかった」との声が聞かれました。



背筋を伸ばしお茶を飲む児童。「おいしく飲み干した」という意味を含め最後の一口は音をたてて吸いきります。

## 調べ学習のコツを知る 小幡小

小幡小PTAセミナーが12月8日に小幡小学校体育館で開かれ4～6年生が参加しました。町地域魅力化特命室の高田室長が同校卒業生の富田製麺(小幡)の菊池崇寛さんの活動や思いについてクイズを交えながら紹介し、町の魅力の調べ方を伝えました。子どもたちは調べ学習を進めるポイントを学んだ後、疑問に思ったことをゲスト出演した菊池さん本人に次々に質問し、「なぜ・どうして」を突き詰めていく過程を実践しました。

岡田光太郎さん(5年)は「『なぜなぜ勉強法』について最初は半信半疑だったけれど、内容を聞きよく分かりました。菊池さんに質問することができて楽しかったです」と話しました。



「甘楽町の地上の星を紹介ー調べ学習のコツ教えます」と題したセミナー